

平成 28 年度 前期学校評価から

今年度 1 回目の学校評価を保護者の皆様、子どもたちに 6 月に実施いたしました。保護者の皆様には 9 割近いご回答をいただきました。感謝申し上げます。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様におかれましても、大將軍小学校の学校教育活動がどのくらい達成できているのか、重点的な取組が功を奏しているのか、といった結果は大変関心の高いところだと思います。ただ、学校だけで取り組めるものではなく、保護者や地域の協力があって、効果が上がる場所が多々あります。

そこで、大將軍小学校においても保護者や地域の皆様の協力を仰ぎ、学校教育活動をすすめていくために、それにふさわしい学校評価項目を作成していくことにしました。評価の項目の内容が具体的なものが答えやすいと思いますし、できるだけ項目を絞って作成することが良いと考えました。そこから「より良い学校をつくるために」につながっていくと信じています。

	＜保護者＞					
			よくできている	できている	あまりできていない	できていない
1	我が子が進んで挨拶するように、家でも挨拶をしている。	27後	28	48	24	1
		28前	31	60	8	1
2	我が家で、我が子が友達を大切に、仲良くするように働きかけている。	27後	40	50	9	1
		28前	34	63	2	0
3	我が子が困った時は先生に相談するように言っている。	27後				
		28前	31	60	8	0
4	我が子が朝食をとり、遅刻することなく登校できるように働きかけている。	27後				
		28前	70	26	1	2
5	我が子が忘れ物なく学習準備をする習慣が身につくよう、働きかけている。	27後				
		28前	35	53	11	2
6	我が家で、我が子に掃除や家事の習慣が身につくよう役割を決めている。	27後	8	39	46	8
		28前	10	38	49	4
7	我が子がはきものをそろえるように働きかけている。	27後				
		28前	10	49	34	7
8	我が子の良さを認め、褒めるようにしている。	27後				
		28前	24	59	17	0
9	我が子は授業が分かりやすいと言っている。	27後				
		28前	16	69	11	4
10	我が子に人の話をしっかり聞くよう働きかけている。	27後				
		28前	31	61	7	1
11	我が子に授業中、進んで発表するように励ましている。	27後				
		28前	17	56	27	0
12	我が子に宿題などの家庭学習の習慣が身につくよう、働きかけている。	27後	19	48	29	5
		28前	33	57	10	0
13	我が子に本をよく読むように勧めている。	27後				
		28前	28	27	40	5
14	家庭で大將軍地域の良いところについて話す機会をもっている。	27後				
		28前	2	24	63	10

なお、今年度の学校評価の項目を大きく変更しましたので、昨年度後期と比較しにくくなりましたが、似ているという項目については入力しています。

保護者集計が左表、児童集計が右表です。数字は％です。

全体を通して、保護者と児童の評価ともに「よくあてはまる」「あてはまる」の合計数が多数を占めています。各家庭で努力して頂いたり、学校においても改善に努めていることを評価して頂いたりし

たからだと受け取っております。有難うございます。

学校では、子どもたち一人一人を大切にして、子どもたちに規範意識と自立・自律の心、自己有用感の高揚をめざしています。それは、規範意識と自己有用感の高い子どもは学力も比較的に高いと言われているからです。

9 月 1 日に開催しました学校運営協議会理事会では、学校が重点的に取り組んでいる評価項目を中心に話し合いました。

その項目について、以下、紹介いたします。

なお、右下および裏面の帯グラフは左側から「よくできている」「できている」「あまりできていない」「できていない」の順にならべています。

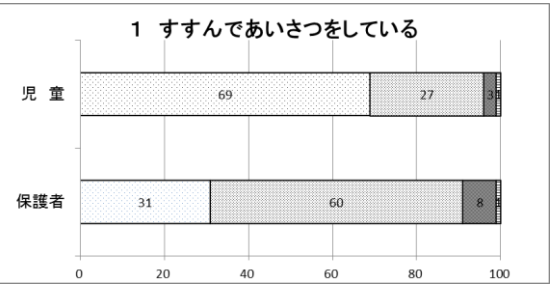


＜項目ごとにふりかえります＞

自分からあいさつをしているか

子どもの評価では「自分から進んであいさつしている」が高い評価になっています。朝の登校状況から見ると、昨年度よりも子どもたちは「自分から進んで」あいさつをしていると実感できます。

5 月や 7 月にも児童会が「朝のあいさつ運動」に取り組み、元気にあいさつができるようになってきています。これからも、学校・家庭・地域であいさつの輪を広げていきたいと思



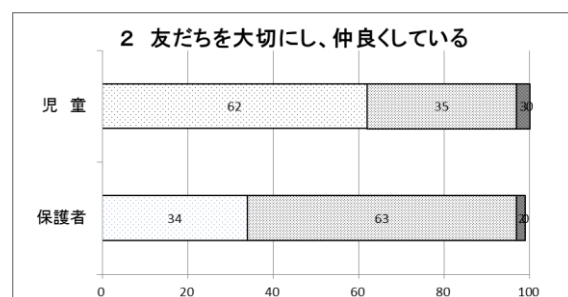
います。ご協力をよろしくお願いいたします。

友だちを大切にし、仲良くしているか

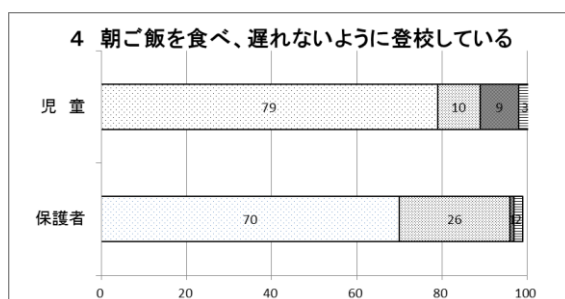
結果から、ほとんどの子どもが友だちを大切にし、仲良く過ごそうという思いで学校生活を送っていると言えます。



子どもの成長に、友だちの存在は不可欠です。成長の過程では思いの違いが出て、悩むこともあるかもしれませんが、友だちと一緒に過ごしている時に良い思いがもてるように、遊ぶ場を設けたり、話す場を工夫したりして、友だちと一緒に活動する楽しさを体感できる取組を進めてまいります。



朝ご飯を食べ、遅れないように登校できているか



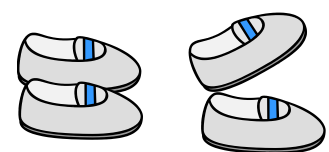
入学式や学校だより等で保護者の皆様をお願いしていますが、子どもたち自身が朝の力をつけることがとても重要です。

朝の力とは、「朝早く起きること」「朝ご飯をしっかり食べること」「朝のあいさつをすること」です。私たちの脳が働き始めるのは、朝起きて2時間ほどしてからと言われています。また、脳が働くときに必要な栄養素は「糖」です。ご飯やパン等の炭水化物をしっかりと摂取すれば、良いのです。子どもたちの登校傾向について昨年に比べますと、8時20分までに登校してくる子どもがほとんどになりました。朝の力をつけていただいていると実感しております。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

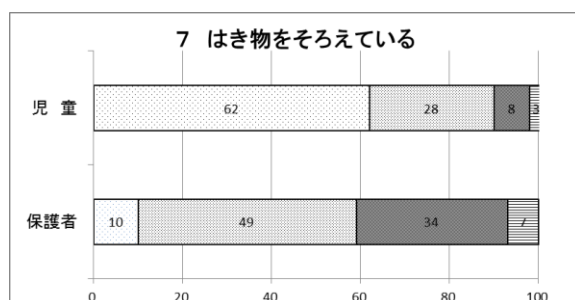
履き物をそろえているか

社会で生きていく上で、きまりやルールを守ること、マナーについても心がけて生活することがとても重要です。きまりやルールを守ること自分自身を守ることにもつながります。

周りの人への気遣いができる一つの具体的な姿が、この「はきものをそろえる」です。また、自分の履き物をそろえることができる人は、自分の行いをしっかりと振り返ることができる人でもあると思います。最後までしっかりできる姿を現していると思うのです。



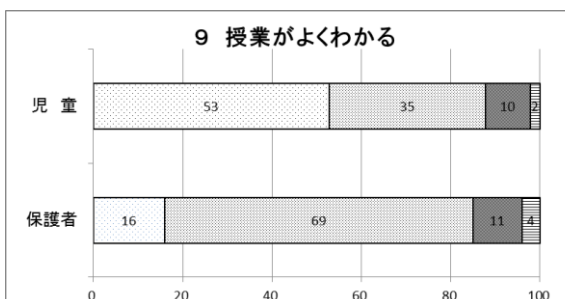
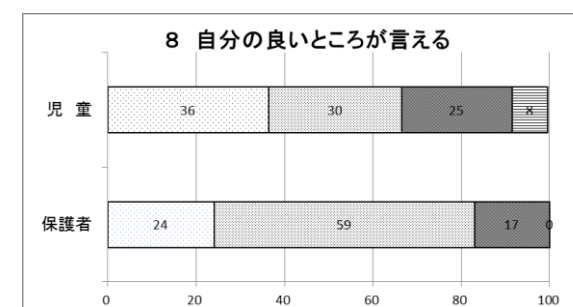
しっかりとそろえることができる子どもに育てるためには、大人が見本となって導くことが大切です。



自分の良いところを言えるか

自己有用感の高い子どもは、活動に前向きでチャレンジする気持ちが旺盛です。また、自信をもって取り組むので、どんどん自分を高めていきます。

学校においても、自己有用感等の自尊感情を高めていく取組を積極的に進めてまいります。



授業がよくわかるか

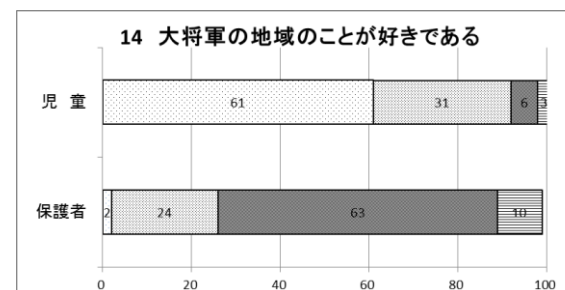
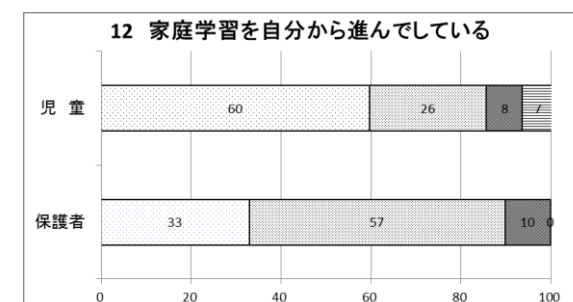
子どもたちにとって基礎基本の学力とともに、思考力や判断力、表現力も身につけることが学校の役割です。

この問いに対して「できている」が100%になるように、これからも確かな子ども理解と深い教材研究を進め、学力向上をめざします。

家庭で時間を決めて学習しているか

学習する習慣を身につけることは、生涯にわたってとても大切です。

予習や復習が授業と結びついた時、学力の定着が確かなものになります。家庭学習を生活の中に位置づけ、習慣化できるように、学校では、（学年）×15分といった学習時間をお伝えしています。各学年のねらいや内容、注意すべき点など具体的な家庭学習の進め方について、学校から7月に発信しましたので、ご活用ください。



大將軍の地域のことが好きであるか

自分たちの住んでいるこの地域を「好き」と答えた子どもの割合がとても高いことがわかります。これからも、保護者の皆様には大將軍地域の良いところについて話す機会をもっていただきますよう、よろしくお願いいたします。



「安心と信頼の学校づくり」目指し、さらに努力してまいります！
これからも「学校評価」にご協力をよろしくお願いいたします。